

この4月に神戸より赴任してまいりました健康福祉部長の村上と申します。

中国四国地方において、「村上姓」は水軍の出に違いないと思われがちですが、祖先は宮城県蔵王町というところの出身で、「村上水軍」との血縁関係は残念ながらありません。ただし、水軍にちなんで忘れにくい姓かと思いますので、「そう言えば中国四国厚生局に村上というのがいるな」と頭の片隅にでも置いといていただければ幸いです。

さて、私は冒頭にも書きましたとおり、神戸より赴任してまいりました。神戸市西区を通る東経 135 度の子午線のすぐそばにある厚生労働省の施設等機関に当たる国立更生援護機関「国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局神戸視力障害センター」からやってまいりました。国立障害者リハビリテーションセンターは、自立支援局、病院、研究部門、学院の4部門からなる総合リハビリテーションセンターを埼玉県所沢市に置く障害者自立支援施設です。また、自立支援局に属する組織として、函館、神戸、福岡に視力障害センター、大分県別府市に重度障害センター、埼玉県所沢市に福祉型障害児入所施設として秩父学園を設置しています。

私のいた神戸視力障害センターは、厚生労働省組織規則でいうところの「国立光明寮」という施設です。光明は「こうみょう」ではなく「こうめい」と読み、恐らく仏語（ぶつご）の光明に由来するものと思います。いささか古いことで詳しいことはわかりませんが、寮歌や寮旗などもあり、歴史の重みがひしひしと伝わってくるところで、所長として2年間過ごしてまいりました。



○神戸視力障害センターのパンフレット  
右上の視覚障害向けの音声コードが特徴

この神戸視力障害センターは、文字どおり視覚に障害をお持ちの方に、障害福祉サービスを提供する施設として昭和 26 年に創設され、これまでに 3600 人を超える「あはき師」（後述）を輩出した歴史ある施設です。身体障害者福祉法が昭和 25 年 4 月に施行され、その翌年に失明者の更生施設として誕生したのですが、戦後間もない当時は、多くの戦傷病者でごった返していたそうで、施設の創設自体も GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）からの横やりなどもあって危うかったものの本で読んだ記憶があります。設立当初の定員は現在

（70 人）の二倍を超え、しかも充足率は常に 100%状態のようでしたが、時代の趨勢から、これまで段階的に定員を減らし、現在では充足率も約 50%前後で推移している状況です。

具体的なサービスの内容は三つあります。一つ目は自立訓練（機能訓練）です。歩行訓練や視覚補助具の使用訓練など、日々の生活を快適に過ごしてもらうための知識や技術を身につけるための訓練（支援）を行っています。二つ目は就労移行支援（養成施設）です。あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師（これらを総称して「あはき師」といいます。）の国家資格を取得するための職業訓練（講義、実技、臨床実習、見学実習など）や進路支援を行い、職業的に自立した社会生活が送られるよう支援しています。三つ目は施設入所支援で



○神戸のシンボル「神戸ポートタワー」

す。自宅が遠方のため通所が困難な方に対し、宿舎（寮）の提供を行っています。

そして、神戸視力障害センターの担当地域ですが、福井県、三重県、近畿全域及び中国四国全域（ただし、山口県を除きます。）となっております。歴史のわりには認知度が低く大変残念ですが、上記の地域にお住まいの視覚に障害をお持ちの方で、障害福祉サービスを希望される方がいらっしゃいましたら、どしどし神戸視力障害センターにご相談いただければ幸いです。

さて、私が前職の神戸視力障害センターに赴任したのが今から2年前の平成27年4月でした。その前は埼玉県所沢市の国立リハビリテーションセンターに、千葉県習志野市の自宅から往復5時間かけて通っていき、もうそろそろ限界かなと思っていたところの神戸への転勤でした。息子は在京の大学生で妻も働いていましたから、当然といえば当然ですが単身赴任となったわけです。



○神戸視力障害センターに程近い、明石海峡大橋

神戸では宿舎から勤務先の施設まで徒歩で約8分、これまでの通勤時間5時間に比べて時間があることあること。業務終了後に施設を出て、近所のスーパーに寄って、食材を調達し、歴代先輩から代々受け継がれてきたオンボロの一口コンロで料理しつつ吞んで、出来上がってまた吞んでと、それまでの通勤時間の5時間はほぼ飲み食いの時間に平行移動という感じでした。お陰様で、この2年間、お腹周りの筋肉がほぼ脂肪へと変異し、それが影響してか腰痛がでたり、心室性期外収縮（不整脈の一種）と言われたりと、単身生活によってあちこちガタが出てきている状態です。

この度の広島赴任でまだまだ単身生活は続きそうです。神戸での反省を踏まえ、とりあえず買ったばかりのスマホに万歩計の無料アプリをダウンロードして、1日最低1万歩を目標に基礎体力づくりに励んでいきたいと思います。広島は高校生の時の修学旅行と、出張でお邪魔したことがあります、正直右も左もわかりません。出身が海無し県の埼玉県（実は埼玉西武ライオンズファン（小声））で海への憧れが異常に強い者なので、まずは平和記念公園や宮島から始めて、その後は時間をかけつつゆっくりと海辺の名所旧跡などを巡り、美味しいものも堪能して単身生活を楽しまたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。